

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	保険年金課長 石橋 尚
主管課(関係課)【2】	保険年金課(生活福祉課、高齢者支援課)

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑1-4 社会保障制度の運営		安心して暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	市民が安心して暮らすことができるよう社会保障制度を運営していくためには、国民健康保険制度、長寿医療制度(後期高齢者医療制度)など、医療保険制度の創設、改正について市民に広く周知するとともに、健全で安定した制度運営を図っていく必要があります。こうした取組を通じて、安定した社会保障制度の運営をめざします。		・制度改正に伴う市民への周知と適切な運営 ・健全かつ安定した医療保険制度の運営 ・生活保護対象者への自立支援プログラムの実施	市民のだけれどもが、健康で文化的な生活がおくれるよう、社会保障制度の適正・健全な運営に努めていきます。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇国では、高齢者の医療制度のあり方を社会保障制度改革国民会議のなかで議論していくとしています。今後、議論の動向を注視する必要があります。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	生活の安定のための幅広い支援を行います	生活保護制度の適切な運営	
	2	国民健康保険制度の健全な運営を行います	国民健康保険制度の健全な運営	
	3	高齢者の医療保険制度の健全な運営を行います	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の健全な運営	
	4	現状に即した介護保険制度の健全な運営を行います	介護保険制度の健全な運営	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「社会保障制度の運営」に対する市民満足度	目標値	15%			単位	%	
		算出式・説明	健康で文化的な市民生活のためには、社会保障制度の適正かつ健全な運営が重要です。市民意識調査で把握します。	実績値	10.9	10.9	10.9	14.7	14.7	16
				達成率	73%	73%	73%	98%	98%	107%
	指標2	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
	達成率の平均値				73%	73%	73%	98%	98%	107%

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	10.9%	満足度(%)	14.7%	満足度(%)	16%
満足度(平均ポイント)	-0.26	満足度(平均ポイント)	-0.17	満足度(平均ポイント)	-0.12
重要度(%)	79.1%	重要度(%)	76%	重要度(%)	72.7%
重要度(平均ポイント)	1.3	重要度(平均ポイント)	1.19	重要度(平均ポイント)	1.09

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇生活保護制度については、被保護者の生活と自立を支援するため、様々な自立促進事業に取り組んでいます。被保護者が増加している厳しい経済状況の中で引き続き適正な制度の実施を継続していくことが課題となっています。 ◇国民健康保険については、一般会計からの基準外繰入金（赤字補てん）が多額となっており、一般会計の財政を圧迫している要因の一つとなっていることから、国民健康保険制度の健全な運営を実現するため、平成24年度の保険料を改定したほか、高額滞納者については納税課債権回収対策担当と連携し、コンビニ収納や差押を始めとした収入の確保、徴収率の向上に努めるなど、財政の健全化を図っています。また、生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、被保険者の生活習慣病の予防と生活の質の維持及び向上を目指して取り組んでいます。受診率・保健指導の実施率向上が課題となっています。 ◇後期高齢者医療制度の健全な運営を実現するため、被保険者の健康保持を図るための一般健康診査の実施や臨戸訪問など、きめ細やかな説明を通じて保険料収納率の向上を図り、財源の確保に努めています。高齢者医療制度の今後のあり方が不透明となっていることが課題となっています。 ◇介護保険制度を健全に運営していくため、高齢化社会と高齢者施策を取り巻く環境の変化を踏まえ、介護保険事業を見直し、第5期介護保険事業計画を策定し、介護サービスの充実や基盤整備を進めています。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇生活保護制度については、引き続き生活困窮者に対する適正な生活保護の実施に努めるとともに、被保護世帯の生活の安定と自立を促すための支援の充実を図ります。 ◇国民健康保険については、将来にわたり持続可能な財政運営とするため、今後とも適正な保険料の見直しを図るとともに、国民健康保険の広域化に向けた動向を注視し、的確な対応を図ります。 ◇後期高齢者医療については、現在の後期高齢者医療制度の廃止の議論も含め、今後の国の動向を注視し、的確な対応を図ります。 ◇介護保険制度の健全な運営を行うために第5期介護保険事業計画（平成24年度～26年度）に沿った取組みを行います。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための施策として、地域密着型サービスの充実にも努めてまいりましたが、第5期計画においても、小規模多機能型居宅介護や認知症高齢者グループホームの整備等を計画に位置付け、さらなる充実に向けて取り組んでまいります。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	社会保障制度の運営については、生活保護・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各制度の適切かつ健全な運営に努めてきており、市民意識調査結果の経年変化としても、満足度の向上と重要性の低減が見られたことから、これまでの取組を継続したことで効果が得られたものと考えられますので、現状の計画ベースでの取組を維持すべきものと判断しました。 制度運営としては、適切に行うことが第一ですが、コスト効率化の視点として、被保護世帯の自立促進や後発医薬品の利用促進、介護予防事業の実施など、様々な側面支援を積極的に推進していくものとします。 また、社会保障と税の一体改革や後期高齢者医療制度など、周辺状況の変化を鋭敏に捉え、それに対する備えを着実に進めるものとします。
施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	